



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 フクビ化学工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7871 URL http://www.fukuvi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)八木 誠一郎
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務執行役員 (氏名)大畑 忠 (TEL) (0776) 38-8002
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,277	1.6	1,038	3.4	1,204	0.7	796	1.3
28年3月期第3四半期	28,818	1.4	1,004	22.3	1,195	20.6	786	38.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,092百万円(5.3%) 28年3月期第3四半期 1,037百万円(△1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	38.62	—
28年3月期第3四半期	38.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	45,449	28,411	61.3
28年3月期	44,849	27,578	60.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 27,874百万円 28年3月期 27,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	7.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	4.6	1,650	25.9	1,820	19.7	1,150	23.3	55.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) FUKUVI HOLDINGS (THAILAND) CO., LTD. 、 FUKUVI (THAILAND) CO., LTD.

除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	20,688,425株	28年3月期	20,688,425株
29年3月期3Q	72,828株	28年3月期	72,828株
29年3月期3Q	20,615,597株	28年3月期3Q	20,615,677株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用者数の増加と実質雇用者所得の高い伸びにより個人消費に改善の兆しが見られ、また、企業の生産も需要の持ち直しと在庫調整の進展を受け増加しており、緩やかに回復しております。しかし、海外情勢につきましては、中国を始め新興国経済の減速、英国のEU離脱決定、米国新政権への移行など、不確実性が増しております。

住宅業界におきましては、平成28年度4月～12月の新設住宅着工は、8年ぶりに40万戸を超えた貸家の着工が全体の伸びを牽引し、戸数751千戸（前年同期比6.6%増）、床面積60,645千㎡（同4.5%増）と前年同期実績を上回る結果となりました。

このような環境のもと当社グループでは、主力分野である住宅の新設市場において高機能製品の防水部材やフランチャイズのパッシブ工法『エアサイクルの家』に注力しました。また、リフォーム市場では浴室リフォーム工法、非住宅市場ではOAフロアなどの拡大に注力しました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高29,277百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益1,038百万円（同3.4%増）、経常利益1,204百万円（同0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益796百万円（同1.3%増）となりました。

事業別の売上状況は、以下のとおりであります。

〔建築資材事業〕

主力の建築資材事業の売上は、21,479百万円（前年同期比0.8%増）で、売上高全体の73.4%を占めました。

うち外装建材は、4,484百万円（同1.1%増）でした。左官資材・土台パッキン部材が低調に推移しましたが、防水部材・防風透湿シート・樹脂製瓦棧は順調に推移しました。

内装建材は、8,580百万円（同2.9%増）でした。断熱材・見切部材が伸び悩みましたが、養生材・樹脂開口枠・床下点検口収納庫は堅調な伸びを示しました。

床関連材は、5,687百万円（同0.5%増）でした。乾式遮音二重床システム部材・機能束が低調に推移しましたが、床タイル・OAフロア・床支持具は好調に推移しました。

システム建材は、2,728百万円（同5.0%減）でした。木粉入り樹脂建材が伸び悩みましたが、空気循環式断熱システム部材・防蟻材は順調に推移しました。

〔産業資材事業〕

産業資材事業の売上は、7,798百万円（同3.8%増）で、売上高全体の26.6%を占めました。精密化工品が低調に推移しましたが、窓枠・車輛部材が堅調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ600百万円（前期末比1.3%）増加し、45,449百万円となりました。主な増減要因としましては、流動資産では、受取手形及び売掛金が1,887百万円増加した一方で、現金及び預金が3,045百万円、商品及び製品が79百万円減少したことなどにより、670百万円（同2.1%）の減少となりました。固定資産では、有形固定資産が426百万円増加し、投資その他の資産が844百万円増加したことにより、1,270百万円（同10.2%）の増加となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ233百万円（前期末比1.4%）減少し、17,037百万円となりました。主な増減要因としましては、流動負債では、未払金が170百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が231百万円減少、また賞与引当金が260百万円減少するなど、419百万円（同2.6%）の減少とな

りました。固定負債では、リース債務が29百万円減少した一方で、繰延税金負債が212百万円増加するなど、186百万円(同15.2%)の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ833百万円(前期末比3.0%)増加し、28,411百万円となりました。主な増減要因としましては、為替換算調整勘定が49百万円減少する一方で、その他有価証券評価差額金が315百万円増加し、また退職給付に係る調整累計額が49百万円増加しました。株主資本合計は、利益剰余金が487百万円増加し、26,723百万円となりました。この結果、自己資本は27,874百万円となり、自己資本比率は61.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては依然として不透明な状況が続くものと予想されますが、現時点において平成28年5月12日公表の連結業績予想に変更はありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、FUKUVI HOLDINGS (THAILAND) CO., LTD. および FUKUVI (THAILAND) CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,794	7,749
受取手形及び売掛金	15,189	17,076
電子記録債権	72	819
商品及び製品	3,098	3,019
仕掛品	666	652
原材料及び貯蔵品	1,000	1,000
未収入金	1,205	1,129
繰延税金資産	285	186
その他	79	90
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	32,386	31,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,216	3,234
機械装置及び運搬具(純額)	1,358	1,398
工具、器具及び備品(純額)	174	280
土地	1,869	1,863
リース資産(純額)	433	379
建設仮勘定	177	500
有形固定資産合計	7,228	7,653
無形固定資産		
その他	257	258
投資その他の資産		
投資有価証券	3,086	3,811
長期前払費用	60	33
退職給付に係る資産	1,570	1,721
繰延税金資産	13	14
その他	250	245
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,979	5,823
固定資産合計	12,463	13,734
資産合計	44,849	45,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,708	12,477
短期借入金	281	226
1年内返済予定の長期借入金	200	-
未払金	199	369
未払法人税等	286	93
未払費用	1,012	1,062
賞与引当金	541	280
その他	819	1,118
流動負債合計	16,046	15,627
固定負債		
リース債務	432	403
繰延税金負債	492	704
役員退職慰労引当金	258	261
環境対策引当金	1	-
退職給付に係る負債	43	43
固定負債合計	1,225	1,411
負債合計	17,271	17,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,511	1,511
利益剰余金	22,567	23,054
自己株式	△36	△36
株主資本合計	26,236	26,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	762	1,077
為替換算調整勘定	58	9
退職給付に係る調整累計額	16	65
その他の包括利益累計額合計	836	1,151
非支配株主持分	507	538
純資産合計	27,578	28,411
負債純資産合計	44,849	45,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	28,818	29,277
売上原価	21,360	21,495
売上総利益	7,459	7,782
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,812	1,854
広告宣伝費	179	179
役員報酬	138	136
従業員給料	1,482	1,503
賞与引当金繰入額	411	434
減価償却費	251	250
賃借料	425	453
その他	1,756	1,935
販売費及び一般管理費合計	6,454	6,744
営業利益	1,004	1,038
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	70	79
その他	148	154
営業外収益合計	219	235
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	0	32
その他	24	34
営業外費用合計	28	70
経常利益	1,195	1,204
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	24	0
特別利益合計	24	2
特別損失		
固定資産除却損	7	3
投資有価証券売却損	0	0
特別損失合計	7	4
税金等調整前四半期純利益	1,212	1,202
法人税、住民税及び事業税	206	247
法人税等調整額	218	155
法人税等合計	424	402
四半期純利益	788	800
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	786	796

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	788	800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	315
為替換算調整勘定	△3	△72
退職給付に係る調整額	△1	49
その他の包括利益合計	248	291
四半期包括利益	1,037	1,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,035	1,111
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。